

私たちが一貫して求めているのは、 住民投票を行うことです

私たちは1月から住民アンケートを実施しました。その目的は、プルサーマル計画に対し、町民皆さんの意思が表明される機会をつくることでした。

結果は圧倒的町民がプルサーマル計画導入に「反対」「わからない」という意思を表明しました。そして、「住民投票が必要」の声が58%と過半数をこえました。

最終的には議会が決めることですが、その前提に住民投票を行い、町民の意思を確認し、その結果を尊重することは、議会制民主主義を否定することには決してなりません。地方分権が叫ばれる中、住民投票は大切な行為です。

二〇〇一年五月に行われた、新潟県刈羽村の住民投票では、88%という高い投票率で、プルサーマル導入に同意した従前の決定を、撤回するかどうか争点でした。

ですから、「プルサーマル問題はむずかしいから住民投票になじまない」とか、「すでに三者協議で同意している。遅すぎる」という指摘は当たらないと思います。

条例は否決され、住民の意思も問われないうまま、「相当程度理解された」と町長は同意しましたが、私たちは住民無視のプルサーマルの実施を許さず、引き続き「住民こそ主人公」の立場でがんばります。町民みなさんのご支援とご指導を心から願います。

